

助手
恵良 真理子

■ 学歴

1. 2017 年 北九州市立大学大学院国際環境工学研究科環境システム専攻 博士後期課程
単位取得満期退学

■ 学位

1. 2014 年 修士（学術）

■ 研究分野

- 1.
- 2.
- 3.

■ 研究キーワード

- 1.
- 2.
- 3.

■ 研究課題

- 1.
- 2.

■ 担当授業科目

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

- | | |
|----|--------------|
| 1. | 授業科目名【食品学実験】 |
|----|--------------|

	器具の取り扱いなど、個別に指導補助を行った。実験操作によっては難しい操作もあったため、デモを行いながら一緒に操作を行った。実験後の後片付けでも、器具の洗浄方法や乾燥の仕方がそれぞれで異なることを説明し、器具の汚れがあると次の実験に支障が出ることも説明した。
2.	授業科目名【応用調理学実習】 調理技術が未熟な学生に対しては、個別に調理のアドバイスをを行った。特に食材の取り扱いについては衛生面を考慮できていない学生が多かったため、生食なのか加熱調理をするのかを考えながら食材を取り扱うようにアドバイスをを行った。
3.	授業科目名【基礎栄養学実習】 マイクロピペットを取り扱う実習が多く、操作については注意深くアドバイスをを行った。操作ミスがあったグループには、なぜ、失敗したのかを尋ね、一緒に操作方法の流れを確認して、学生が理解できるように助言を行った。
4.	授業科目名【栄養教育論実習Ⅱ】 症例からアセスメントを行えない学生がいたため、検査項目の読み取り方などを丁寧に助言した。指導媒体を作成する際に PC 操作に不慣れな学生には、丁寧にアドバイスをを行い、文字の大きさや色彩は対象者にとって適切かどうかなども実際に媒体を見ながらの確認も行った。 個別指導の評価などは個別に学生にフィードバックできるようにデータをまとめ、次回の集団指導につなげるようにした。

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2020 年 1 月～現在に至る	人間ドック・予防医療学会	
2.	2024 年 10 月～現在に至る	日本栄養士会	
3.			

■ 研究業績等に関する事項（2024 年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
（著書）					
1.					
2.					
3.					
（学術論文）					
1.	2025. 4	室内環境に おけるい草 の抗菌・抗真 菌効果	共	室内環境学会	① 日本建築の床材として欠かすことのできない畳の新たな機能性について解説した。い草の抗菌・抗真菌効果の接触型と非接触型の効果について解説を行った。 ② 共著者名：八尋万緒, 恵良真理子,

					森田博 ③ accept
2.					
3.					
(翻訳)					
1.					
2.					
3.					
(学会発表)					
1.					
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任期 期間等	団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等
1.			
2.			
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.			
2.			
3.			